



正しい位置

あごを上を向いて、顔が確認できる、口と鼻がふさがれていない



誤った位置

顔がふさがれている状態



誤った位置

低すぎる状態



誤った位置

背中が丸まってあごごと胸がくっついた状態



誤った位置

顔が着用者の体に強く密着した状態



このしおりに記載のある内容はガイドラインです。常に常識の範囲内で使用をし、赤ちゃんの安全を第一に考えてご使用ください。世界で一番守られている赤ちゃんは、愛情を持って接してくれる母親がいる赤ちゃん、あなたの赤ちゃんです。

ベビーウェアリング 安全のしおり



ベビーキャリア自体は安全器具ではなく、抱っこ補助具です。抱っこをするあなたが赤ちゃんの安全に責任を持ってあげてください。

提供者



Boba Inc. | PO Box 3808
Boulder, CO 80307 | USA
bobafamily.com

以下のガイドラインをお読みいただき、赤ちゃんが安全に抱っこ、またはおんぶされていることを確認して下さい。

- 1 常に赤ちゃんの気道が確保され、呼吸が出来ていることを確認してください。ベビーキャリアは両手が空き、いろいろなことができる便利な補助具ですが赤ちゃんのことを常に気かけ、注意を払ってください。どのベビーキャリアも赤ちゃんの気道の確保を保証することはできません。



- 2 赤ちゃんのあごが埋まってしまったり、頭が胸に押し付けられたりするようなことは決してしないでください。このようなポジションは赤ちゃんの呼吸を妨げます。このルールはベビーキャリアの使用の有無、チャイルドシートの使用、その他補助具などに関わらず全ての抱っこやおんぶ、装着に関して適用されます。特に新生児は自分自身で気道を確保する筋力がまだないのでこのような状況では窒息してしまいます。

- 3 赤ちゃんの頭や顔が布で完全に覆われてしまうことの無いようにしてください。完全に覆われていると簡単に、頻繁に赤ちゃんの様子を見ることができません。

- 4 ジョギングやランニング、その他激しい運動など赤ちゃんが強く揺さぶられたり、上下に揺れたりするような運動は決してしないでください。このような衝撃は赤ちゃんの首、背骨や脳に損傷を与えることがあります。

- 5 ベビーキャリアを使用しながらの車の運転や自転車の走行は決してしないでください。ベビーキャリアはチャイルドシートや自転車の幼児用シートのような防護能力はありません。

- 6 赤ちゃんの月齢（年齢）や体重に合わせたベビーキャリアのご使用をお願いいたします。例えば、月齢の高い赤ちゃんや幼児に御使用頂けるハイキング用のベビーキャリアはおすわりのできない赤ちゃんのご使用には適しておりませ。ベビーキャリアをご使用の際は、赤ちゃんの身体的能力および発達段階に合わせたキャリアをお選びください。

- 7 定期的にベビーキャリアの点検をしてください。生地や縫い目、バックルや調節具などの確認をお願い

いたします。毎回使う前に確認いただくようお願いいたします。もし、キャリアに問題があるようであれば使用を中止してください。

- 8 落下の危険性があるような活動は避けてください。原則として、妊娠中には行けないと思われる活動は、ベビーキャリアに赤ちゃんを抱っこやおんぶをしながらすべきではありません。むしろ、妊娠中の方の赤ちゃんはお母さんの体などで守られていますが、ベビーキャリアは基本的に保護能力はありません。はしごを登ったり、馬に乗ったり、スケートやスキーなどは落下の危険性がとても高い活動です。また、ポーリング、セイリング、雪や氷の上など滑りやすい場所によっても危険性が高まります。

- 9 なんらかの防護器具を使用しなければいけないような活動を赤ちゃんを抱っこやおんぶしながらするのは避けてください。ベビーキャリアは赤ちゃんの目を守ったり、落ちたり飛んできたりするもの、煙やホコリなどから守ってはくれません。

- 10 赤ちゃんを外部環境から守るようにして下さい。ベビーキャリアから出ている腕や頭などは日焼け止めが必要です。暑い日に厚着をして抱っこしたり、気温が高いときに長時間外出したりなどは避けてください。同じく寒い時期に適さない格好での外出は避けてください。ベビーキャリア用のコートやカバーなどもございます。

- 11 赤ちゃんの手が届く範囲を確認して下さい。特におんぶの時には赤ちゃんの手の届く場所が見えていないことがあります。ベビーキャリアの中に誤飲したり、引っかかたり、突き刺さったりする小さなおもちゃや紐などをいれないでください。

- 12 赤ちゃんの鼻は地面と並行、あるいはそれより高くなるようにしてください。赤ちゃんが寝てしまったら、並行より高い位置になるようにしてください。ベビーキャリア本体、あるいはスリーピングフードは寝てしまった赤ちゃんの頭を支えるように調節してください。



- 13 抱っこやおんぶしながら熱いものを飲食しないで下さい。

- 14 前かがみになったり、しゃがんだりする際には赤ちゃんを腕で支えてください。しゃがむときは必ず膝を曲げてください。

ベビーキャリアを調節したり、赤ちゃんの位置を調整したりするとき、下記の点にご注目ください。



腕で抱っこしている時と同じように、赤ちゃんは胸の位置で常にあなたの体に密着しているはずですが、ベビーキャリアで抱っこするときも、背中や腰が痛くはなりません。もし、どこかに痛みがあるようであれば、赤ちゃんを低い位置で抱っこしすぎか、ベルトを締め過ぎている、あるいはどこかの生地がねじれている可能性があります。

赤ちゃんが座るキャリアの部分はおしりだけでなく、赤ちゃんの膝裏までしっかりと覆っているはずですが、もし、ベビラップをお使いであれば、生地が幅が広ければ広いほどよりサポートできます。

縦抱きの際には、赤ちゃんの膝がおしりの位置より高い位置になるようにしてください。これにより、股関節窩、骨盤、背骨が自然な丸いポジションに収まります。赤ちゃんの足をお尻の下に入れなくてください。足が圧迫され、血流が妨げられたり、神経が圧迫されたりします。

キャリアで抱っこしながら授乳した後は、再度調節をして体が密着するようにしてください。常におでこにキスできるくらい近いのが理想です。

重要：未熟児や低体重出生児、上部呼吸器感染や筋力の弱い赤ちゃん、胃食道逆流症の赤ちゃんなどは縦抱きにし、横抱き（ハンモック抱き）はしないようにしてください。もし、カンガルーケアを実践しているようであれば、常に縦抱きにしてあげてください。キャリアの中で長時間横抱きにして足を伸ばしている状態は赤ちゃんの股関節の発達に悪影響を与える可能性があります。特に股関節異形成の赤ちゃんによくありません。